

男性不妊症外来(泌尿器科)を受診される方へ

・ 不妊症の原因は女性側だけではありません。不妊症はカップルの病気です。不妊症は、結婚している夫婦の約10%に見られる疾患です。不妊症の原因は、女性のみ41%、男性のみ24%、男女両方24%、原因不明11%とされております。女性不妊症の治療は産婦人科で、男性不妊症の治療は泌尿器科で行われております。

・ どんな検査をするのか？

男性の不妊因子のチェックとして一番基本となるのは精子の検査です。精液検査では、マスターベーションで精液を採取し、精液の量、精子の濃度（数）、運動能、奇形率などをチェックします。精子が作られて成熟するまで2～3ヶ月かかります。ですから昨日、今日のことでは状態が左右されることはありません。ただし、精液採取のときの男性の体調によって、精液の排出量、検査結果に変動をきたすことはよくあることです。ですから、仕事で体が非常に疲れているときや、睡眠不足のときは避けたほうがよいでしょう。また、検査に対する精神的ストレスが影響を及ぼす場合もあります。こうした点を考えて、当院では**最低2回の精液検査**をお願いしております。

・ 精液採取に関するご注意

・ 精液検査を受ける場合、検査日に合わせて**3～4日間の禁欲期間**をおいて検査して下さい。長く禁欲すればよいというものでもありません。1週間以上禁欲した後では逆に死んだ精子の数が多くなります。精子は採取後に温度が低くなると検査データに影響するため、泌尿器科外来の精液採取室にて採取していただきます。（ご自宅での採取は受け付けておりませんので、ご注意ください。）

- ・ 当院で渡される容器を使用してください。（泌尿器科外来にてお渡しします。）
- ・ コンドームは使用しないでください。
- ・ こぼさないように注意してください。こぼしたときはその旨を外来スタッフにお伝えください。
- ・ 30分がんばっても精液が採取できないときは、その旨をスタッフにお伝えください。別の日に再度採取することしましょう。
- ・ うまく採取出来たら、容器に採取した時刻を記載し、**なるべく早く(30分以内)に西13階病棟の尿検体提出窓口**（採血検査室と同じフロア）に提出してください。
- ・ 精液検査の結果が出るまでの時間は個人差がかなりあるため、**検査当日には、結果の説明はしていません。** 検査日とは別個の日程で、不妊外来の予約を取っていただくこととなります。

・ その他の検査

問診、身体診察、超音波検査、精巣、性器の診察を行います。

精液検査で異常がある場合は、ホルモン検査、染色体検査のための採血（検査結果は2～3週間かかります。）を追加することがあります。費用は1万円前後かかります。

◎ 泌尿器科外来について

当院泌尿器科を受診を希望される方は、かかりつけ医からの紹介状と予約取得が必要になります。一般の新患外来は、月・水・金の午前中で、完全予約制です。（火曜日は院内紹介のみ）

ここでも問診、診察、精液検査、不妊外来の予約をお取りすることができますが、検査結果などの詳しいお話は男性不妊外来でお話することとなります。

男性不妊外来は、隔週水曜日の午後で完全予約制となっておりますので、初診の際に不妊外来の予約をお取りします。

泌尿器科の初診日に精液検査を希望される方は、3～4日間の禁欲期間をおいて受診して下さい。